



越生町長 新井康之

令和4年度 施政方針

私が昨年の2月に町長に就任させていただいてから1年が経過しました。この間、町民の皆様や議員の皆様のご協力のもと全力で町政に取り組み、参りました。一方、新型コロナウイルスは依然として猛威を振るい、世界規模で感染が拡大し私たちはかつてない経験をしています。このような状況の中、新型コロナウイルス感染症対策にも重点を置いてまいりました。今後もこの方針を堅持してまいります。

それでは、町政運営と主要施策について、施策方針をお伝えいたします。

国が発表した地方財政対策では、令和4年度においては、社会保障関係費の増加が見込まれる中、地方が地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防・防災力の一層の強化等に取り組みつつ、交付団体をはじめ地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準

を確保することを基本として地方財政対策を講ずることとしております。

その内容を踏まえた地方財政計画の規模は、総額9兆5700億円、前年度と比較して0.9%の増加となっております。歳入では、地方税8.3%、地方譲与税42.6%の増加見込みとなっております。また、地方交付税についても3.5%の増加となっておりますことから、赤字補てん債である臨時財政対策債は67.5%の大幅な減少となっております。

町の財政は、個人所得の回復が見込まれるものの、固定資産税については減少を見込んでおります。また、地方譲与税、地方交付税については増加を見込んでおります。しかしながら、社会保障費及び経常経費の増加などから依然として厳しい状況が続いております。そうしたなか、限られた財源を有効活用し、マニフェストに挙げております「安心元氣な越生町」を目指した様々な施策、事業

を実施してまいりる所存でございます。



誰もが安心して住める越生町を創ります

新型コロナウイルスワクチン接種につきまして、地区医師会及び関係医療機関の協力により、3回目接種について令和3年12月から医療従事者等を、令和4年1月から集団接種を開始いたしました。3回目接種及び5歳から11歳までの子どもとの接種が、スムーズに進むよう、関係機関と連携を密にし実施してまいります。

生活関連では、通学路となつている大字成瀬地内の町道1-7号線改良事業をはじめ、生活道の整備補修を実施してまいります。また、ご議決いただき成立しました、「越生町太陽光発

電設備の適正な設置等に関する条例」は、さっそく公布いたしました。4月1日に施行され、太陽光発電設備の設置に関しては、この条例を活用してまいります。

お年寄り、障がい者の生活を守ります

交通手段を持たない高齢者等を対象に助成している、タクシー・バスの利用者の助成上限額を拡大し、利用者の経済的負担の軽減を図ります。また、商工会、社会福祉協議会と連携し地域ケアの充実を図ってまいります。



町民目線の役場改革を行います

町民の目線に立ち、窓口対応等について、今まで以

上に、丁寧な対応を徹底してまいります。

マイナンバーカードの取得率向上を目指すとともに、デジタル技術を活用し、町民の利便性の向上に努めてまいります。また、自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を含めた情報システムに関する担当部門を設置し、庁内における情報システム、セキュリティ等の管理を一元化するとともに、情報システムの効率的な運用を図り、ICTの有効な活用を進めてまいります。

女性・若者の活躍を応援します

女性・若者まちづくり会議を設置し、女性や若者の視点からの意見等を町政に反映させてまいります。また、多子世帯の住宅取得を支援するための制度を創設するとともに、妊婦タクシーの利用助成を拡充いたします。

教育重視・未来に向けた人材を育成します

学校教育において、町費学習支援員等の配置や、町

独自の35人学級を活かし、きめ細やかな指導を展開してまいります。また、ICT支援員及び外国語指導助手を有効に活用し質の高い教育を目指してまいります。

産業振興と観光の町を発信します

観光協会と連携しながら、町のPRを展開し町の観光、特産品等の魅力を発信していきます。



これら主要となる事業のほかにも、様々な事業を通して、職員一丸となって「安心元氣な越生町」実現のために取り組んでまいります。

町民の皆様におかれまして、引き続き町政発展のために、ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。私の施政方針いたします。

「安心元氣な越生町」を目指した様々な施策、事業を実施してまいります

